

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリコ穂高教室		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日		～ 2025年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名(28家庭)	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 20日		～ 2025年 2月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の療育・活動はご理解を頂き、ご利用者様には楽しんで頂き、保護者の方には安心してお預かりして頂けている	毎日の活動の様子を連絡シート・引き渡しの際に直接お話をさせて頂く、必要に応じてLINEなどのSNSツールも使用して共有させて頂いています。 なるべく支援会議などには参加し、アプリコの様子だけではなく生活を取り巻く環境でのご様子なども把握し支援に繋げています。	引き続き、安全を一番に療育プログラムを作成していきます。また、活動内容もマンネリ化しないよう創意工夫をしていきます。
2	定期的にお便りやホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信出来ている	毎月のお便り、週2回のブログ更新、保護者様に直接ご様子をお伝えさせて頂いています。	引き続き取り組んでまいります。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応やマニュアルだったり、普段の活動ではない部分の周知が出来ていない	契約の際にお伝えしているが、実際にどのような活動をしているかなど都度報告出来ていないこともあり、「わからない」ということになってしまっている。	HPやお便りなどで保護者の方にも周知し、知っていただくようにしていく
2	職員の中にも、運営の中で「分かる」「わからない」という差が生まれてしまっている	日々行っていることが、何のためにしているのかを十分に説明できていない。 勤務形態や勤務歴によって差が生まれてしまう	入社時に説明をする 日々の運営の中でも説明をし、みなが正しく理解したうえで業務を行えるようにしていく
3	勤務している職員を保護者様が把握できていない現状	お便りなどで周知はしているが、すべての保護者様に直接ご挨拶をしているわけではないため、お便りを見逃してしまうと把握が難しい。	なるべく、入退職時には保護者の方に直接該当職員がご挨拶をするようにしていく。 定期的に職員紹介など作成し、配布し、どんな職員が普段お子様の療育に当たっているか、分かるようにしていく。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 アプリコ穂高教室

公表日 2025年3月13日

利用児童数 2025年2月28日 30名(28家庭)

回収数 25家庭

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	3	1	0	・場所的に仕方がないがもう少し広いほうが良う。 ・子供の人数が多い日は、狭く感じるかもしれない ・広々とのびのびと活動できている。	基準は満たしておりますが、人数が多くなると狭く感じてしまいます。活動の内容に合わせてその都度、安全にスペースを確保できるよう配慮していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	1	0	1	・先生方の入れ替わりが多く、現在実際に何名いらっしゃるか把握していない。 ・先生方が沢山居られるため、安心。	・申し訳ありません。 職員の入退職に関しましては、直接の挨拶やお便りを通してご報告致します。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	2	0	1	・子供が分かりやすいと言っている。	ありがとうございます。引き続き安心してご利用いただけるよう、日々の安全管理や整理整頓など行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	1	0	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	1	0	1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	0	0	1		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	0	0	0	・支援会議もいつも時間を作ってください ・子供の事も良く把握してくださっていると感じている。	・こちらこそお時間を作って頂きありがとうございます。今後も精進して参ります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	2	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	0	0	1		
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	3	5	8	・たまに他教室との合同もあるため、十分だと思う。 ・松本の教室と交流されていて良いと思う。	・ありがとうございます。今後も他教室との交流を定期的に取り入れていきたいと思います。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	5	6	7		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	24	0	0	1	・毎回その日の様子を丁寧に記載した記録紙をくださるため、放デイでの様子がよくわかりありがたい。	・今後も記録紙含め、送迎時などにも日々の様子や出来事を伝えあい共通理解が進むように努めていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1	2	0	・支援会議でお話を聞かせて頂けるため、ありがたい	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	0	1	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	4	10	9	・兄弟がいないため不明	・保護者様の交流の場・きょうだい同士の交流の場というのは現在設けておらず申し訳ありません。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	2	0	5		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	1	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	0	1	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	2	0	6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	0	0	8		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	0	0	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・行く日はとても楽しみで仕方ない様子がある。 ・子どもの話を聞いて寄り添って頂いていると感じる。 ・毎回来しく通わせて頂いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。今度も子供たちの気持ちに寄り添った支援ができるよう精進して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・とても満足しています。 ・お話ししやすい雰囲気、いつもありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもありがとうございます。これからもよろしく願い致します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
アプリコ穂高教室		2025年 3月 13日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	分からない1	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1		クールダウンする場所はあるが、季節によって室温の調節が難しいことがある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	アワードもあり、昨年より取り組んでいると思う	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	分からない1	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	分からない1	第三者による外部評価はしていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1		未公表、3月末までには公表予定
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	分からない1	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	分からない1	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	分からない1	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	分からない1	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	分からない1		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	3	勤務時間や出勤職員によって実施が難しい時があるが、必要に応じて実施できている。 必ずではなく、必要に応じて実施できている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4	退勤時間も違うため、難しいと感じることがある。 必要に応じて共有ができていたり、文章でも残っていたりする ため見返しがしやすい。 必ずではなく、必要に応じて実施できている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	分からない1	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	0	分からない2	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	分からない1	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	分からない1	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	分からない1	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	分からない1 保護者希望がある場合に行っている。今年度は、1名実施した。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4	分からない1 卒業する児童がいない	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	分からない1	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	4	分からない1	公園など地域資源を活用する中で関わることもある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	分からない1	
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	分からない1	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	分からない1	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	分からない1	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	分からない1	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	分からない1	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	分からない1	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	分からない1	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	分からない1	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	分からない1	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	分からない1	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	分からない1	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	分からない1	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	未記入1 訓練実施が全てではない。策定はできている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	そこまで重症の児童がいない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	分からない1	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	分からない1	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0			